

日本腹話術普及協会

2025年 インストラクター認定試験実施要領

2024年10月6日

理事長 しろたにまもる

1、日本腹話術普及協会とは

垣根を越えて腹話術の普及を推進しようという目的で2014年に、しろたにまもるが中心となって結成した協会です。「腹話術の会きずな」だけでなく、どの会に所属している人でも自由に参加することができます。早くインストラクターの資格を取って、指導者として活躍して欲しいのです。これまでの10年間に約30人が合格し、指導者として活躍しています。

2、講座および試験日

2025年2月2日(日) 13:00~17:00(4時間)

受講者の都合によっては相談の上、日程を変更することも可。

今後も年に1、2回開催する予定。

3、時程

(1) 講義 13:00(2時間) インストラクターとしての知識と教え方の講義

(2) 筆記試験 15:10(50分) 上記講義内容から出題(80点以上が合格)

(3) 実技試験 16:10(50分) 一人5~10分

*これまでに受験し、筆記試験に合格した人は実技試験だけでよい。

4、会場 スペース京浜(京浜協同劇団稽古場) 電話 044-511-4951

JR川崎駅 西口北ラゾーナ広場 87番乗り場「上平間(かみひらま)」行きに乗り、約15分、「古市場(ふるいちば) 交番前」下車、徒歩2分。(交番と新聞販売店の裏側)

5、受講資格 腹話術経験おおむね5年以上。

6、講師・認定者 しろたにまもる ほか、インストラクター若干名

7、受験料

受講料 10,000円(資料代を含む)

筆記受験料 6,000円

実技受験料 5,000円

諸経費 4,000円(会場費、認定証、通信費など)

合計 25,000円 *学生、障がい者は半額

8、講座内容

しろたにまもる理事長が作成したテキストを基に、腹話術についての理論はもとより、どう教えるかという教え方を中心に学びます。

(テキスト)「腹話術でいこう！」第2巻(2,000円)

- 第1章 教えるということ。腹話術とは。腹話術の歴史。日本の腹話術の状況。人形の種類と仕組み。上演姿勢。
- 第2章 人形の操作方法。発声のしかた。発声訓練。生き生きとした会話。表情。舞台衣裳。
- 第3章 舞台に立つということ。舞台上がらない方法。マイクの上手な使い方。舞台の構造と用語。知っておきたい演芸用語。
- 第4章 笑いの効用。笑いの要素。ネタの探し方。台本の作り方。テーマに沿った台本の作り方。上手な司会の仕方。
- 第5章 台本の覚え方。教え方の基本。その人に合った教え方。リーダーの心構え。芸人の心構え。自分を磨くには。
- 第6章 宣伝のしかた。宣伝物の作り方。上演機会の作り方。被災地等へのボランティア活動。出演料・交通費の交渉。マスコミへの売り込み方。上演記録、資料の保存方法。

9、認定試験について

(1) 筆記試験(60分間) テキスト第1章～6章から

受験資格は講座を修了した人。100点満点中、80点以上が合格。筆記試験は1度合格した人は試験免除。不合格者には補講、追試験有り。

(2) 実技(5～10分) 日頃、認定者がその人の演技を見ている場合は実技試験を免除することもある。

(3) 認定者 しろたにまもる、ほか認定インストラクターの中から若干名。

(4) 認定後

- *合格者には認定証を授与。
- *合格者は自分の名刺、プロフィール等に「日本腹話術普及協会認定インストラクター」と刷り込むことができる。
- *合格者には各地のカルチャーセンター等の講師として推薦することがある。
- *合格、不合格に拘わらず、約1週間後に合否の通知をする。

お問合せ及びお申込みは日本腹話術普及協会へ

電話・ファックスとも 044-544-3737 しろたにまもる方

メール shirotanim@22.netyou.jp

〒212-0051 川崎市幸区東古市場9-21 しろたにまもる方